

(様式例)

令和6年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・制作の基本である準備・片付けを教員の指示を聞いて、実行する意識を持たせることができた。
- ・ICT 機器を活用し、課題理解を深めさせ、意欲的に学習に取り組む様子が見られた。
- ・お互いの作品に興味を持ち、構内展示や生徒発表会での展示において、興味を持って鑑賞する姿勢が見られた。

(2) 課題

- ・全学年、授業規律を徹底し、安全かつ集中して授業に取り組む環境を整える。
- ・作品の校内展示を進めることはもちろん、課題制作後に授業内においての作品鑑賞を行い、お互いの個性を認め合い、高め合う環境をつくる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小学校時に習った基礎的な知識を確認し、表現の幅をさらに広げるために、多くの素材や道具に触れさせ、基礎基本を習得させていく。	・発想力の高い生徒が多いので、互いに鑑賞し合い、高め合える環境をつくる。 ・具体的に自分の言葉で表現できるような鑑賞を促す。	・振り返りシートを活用させ、次への課題意欲につなげていく習慣をつけさせていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話を聞く時に興味を持たせる工夫を行い、知識の定着を図る。 ・時間を意識して制作する計画性を促す。	・様々な表現方法を学びながら、創意工夫していける時間をとる。 ・鑑賞において、自ら思いを表現していけるようにワークシートの工夫を行う。	・作業する時、話を聞く時のメリハリをつけられる習慣をつける。 ・制作途中に相互の鑑賞を取り入れるなどの授業展開の工夫を行い、集中力を持続させる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現方法の幅を広げられるように、新たな素材や道具に触れさせそれを応用する能力を養わせる。 ・見通しをもって表現活動できるように、時間を意識して計画的に制作に取り組ませる。	・様々な表現方法から自ら選択し、試行錯誤ができる授業を行う。 ・様々な表現方法や作者の思いを深めていけるような鑑賞時間を多く取り入れる。	・表現することの楽しみを見いだせるように授業展開の工夫を行い、自分の思いを形にできるように促す。